

花と果樹と病害虫の技術情報

奄美地域で適応性の高い徳之島支場育成の
秋スプレーギク品種「きゅら」シリーズ

徳之島支場



きゅらメーレ



きゅらシューサー



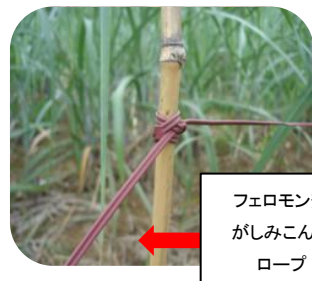
きゅらキララ

特性

- 高温期に安定して穂が確保できる
- 11月～3月開花時の花色が安定している
- 草丈伸長性が高い

交信かく乱法による サトウキビネトウの防除

大島支場



フェロモン剤
がしみこんだ
ロープ

効果

合成性フェロモンを野
外に充満させ、成虫の
交尾阻害を引き起こし、
次世代の密度を低減

技術ポイント

- 処理が省力的で効果が長期間(120日間)
- 土壌や地下水等への影響が極めて小さい
- 効果が発現するまで、約2ヵ月かかる
- 安定した効果を得るには5ha以上の処理面積が必要

マンゴー(無加温栽培)日焼け果の防止技術

大島支場



遮光シート被覆
(遮光率35%)

技術ポイント

- 遮光シートを天井ビニールの上から被覆する
- 袋掛けや笠掛けより作業が省力的
- 被覆時期の目安は梅雨明け前～収穫期まで

遮光シートによる日焼け果防止効果

処理区	日焼け果	
	発生率 (%)	発生度
遮光シート区	0	0
無処理区	91.7	20.5

肥育技術と優良種雄牛

高タンパク低脂肪代用乳を用いた哺乳技術

畜産試験場 大家畜部

技術ポイント

- ◇生時体重30kg以上と30kg未満の2つの体系
- ◇代用乳希釈倍率は5倍
- ◇生後7日齢から人工哺育
- ◇最大給与量は1,200g/日
- ◇基本哺乳日数は生後49日

効果

- 高蛋白低脂肪代用乳(CP28%, FAT18%)の給与(強化哺育)で哺育期の子牛の発育に影響を及ぼすインスリン様成長因子濃度が高まり、骨や筋肉の発達を促進

肉量・肉質に優れた新しい種雄牛「華忠良」号

肉用牛改良研究所

【血統】華春福一忠茂勝一平茂勝
【生年月日】平成23年2月2日



交配対象(雌牛の父)

◇但馬系、栄光系など

特徴

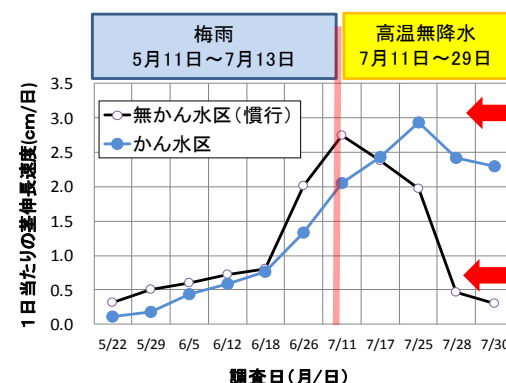
- 優れた増体能力と肉質が魅力
- 「華春福」号の後継牛

産子の枝肉

・出荷月齢 25ヵ月
・枝肉重量 559.2kg
・BMS No. 9

サトウキビのかん水効果 ～水をかけない「損」、かける「得」～

徳之島支場

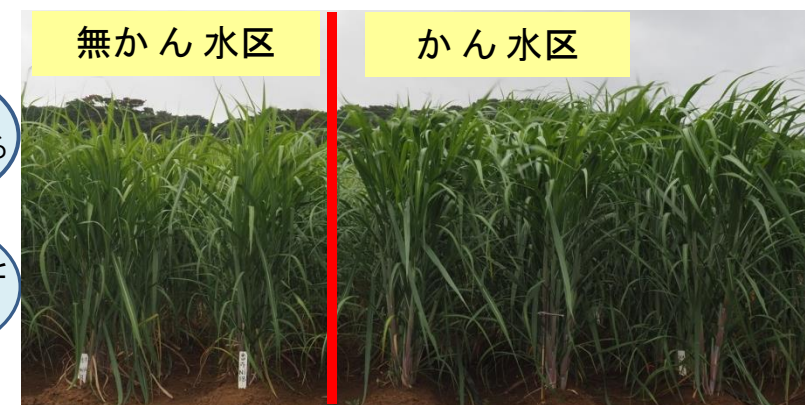


水をかけると
茎が伸び続ける
=得

水をかけないと
茎が伸びない
=損

無かん水区

かん水区



かん水と無かん水の生育差(株出し, 8月上旬)

サトウキビ新技術

複数のサトウキビ奨励品種の特性を活かして収量を確保しよう

徳之島支場



8号 17号 22号 23号 30号 27号

- 8号 高糖, 病気に強い, 安定性 → 広域適応
- 17号 太茎, 晩熟 → 後期収穫向き
- 22号 早期高糖で低温萌芽性良 → 前期収穫向き
- 23号 干ばつに強い → 干ばつが生じやすい地域向き
- 30号 早期高糖性 → 22号の脱葉, 黒穂病改良タイプ
- 27号 太茎, 一茎重が重い → 夏植え多収

夏植え向き
農林27号
の特性



農林27号

農林8号

- ・中太茎で一茎重が重い
- ・新植で農林8号より多収, 特に夏植えで多収
- ・甘蔗糖度は, 農林8号よりやや高い

革新的技術開発・緊急展開事業

サトウキビ機械の新技术

小型半履帯トラクタによるサトウキビ管理技術体系

徳之島支場



技術ポイント

- ◇従来の車輪式に比べ半履帯式トラクタは
 - ・けん引力が強く、心土破碎耕が可能
 - ・ロータリ耕時の機体の振動が少ない

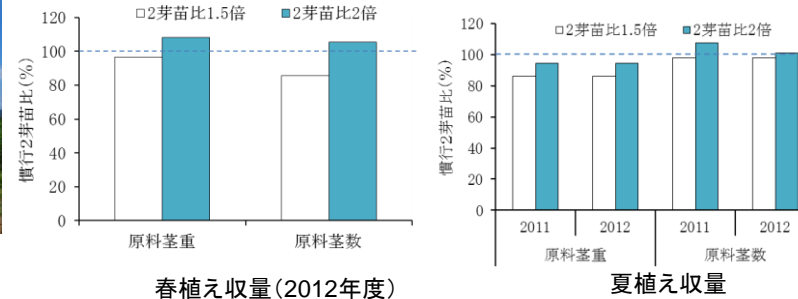
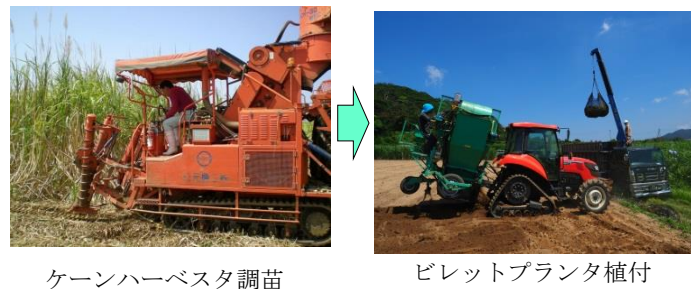
効果

- ハーベスタ収穫機で発生する踏圧土壌を、心土破碎耕で深さ45cm程度まで柔らかな土壌に改善
- 小型半履帯トラクタによる心土破碎耕+中耕作業は、慣行の中耕作業のみに比べ、作業時間・燃料消費量ともに減少
- 長時間作業時の疲労軽減

システム化研・実証事業

ケーンハーベスタによる苗の調苗とビレットプラントによるサトウキビ省力植付体系

徳之島支場



技術ポイント

- ◇従来の植付体系と比較して
 - ・人力作業の1/8
 - ・全形式プラント作業の1/5の作業時間

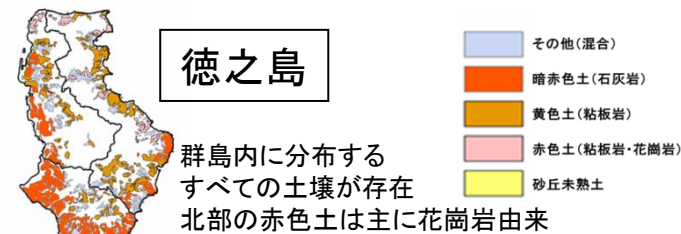
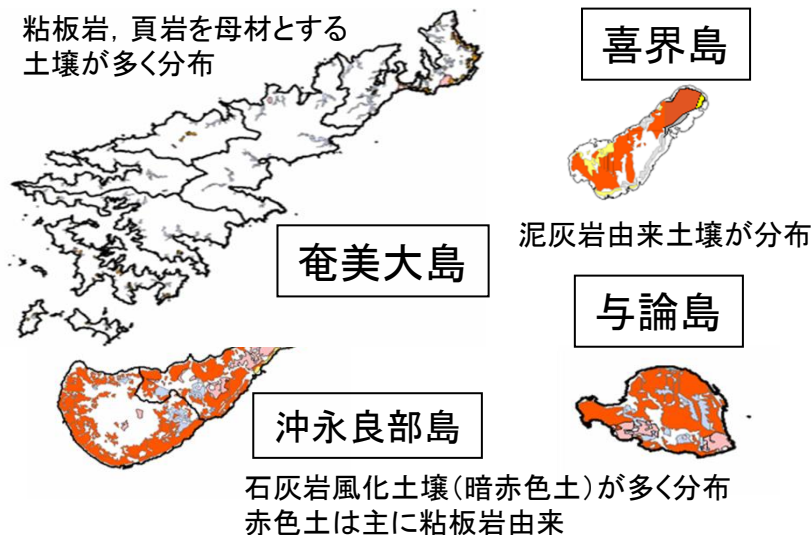
効果

- ケーンハーベスタで採苗を行い、ビレットプラントで植付を行うことで
 - 大幅な時間削減と省力化が可能(17時間/10a)
 - 発芽数の確保のため植付本数を慣行の2倍で、収量は同等

革新的技術開発・緊急展開事業

奄美群島に分布する農耕地土壌の特徴

粘板岩、頁岩を母材とする土壌が多く分布



土壌の母材	土壌の種類(土壌群)	特徴			
		pH	腐植	リン酸	土性 保水性
琉球石灰岩	暗赤色土	中性~アルカリ性	少	少	強粘質 小
粘板岩	赤・黄色土	酸性~強酸性	少	少	強粘質 中
花崗岩	赤・黄色土	酸性~強酸性	少	少	粘質~壤質 中
泥灰岩	黄色土 灰色台地土	中性	少	中	壤質~強粘質 大
その他	砂丘未熟土 他				

石灰岩風化土壌(暗赤色土)が多く分布
赤色土は主に粘板岩由来

野菜の新技术

多様な品目栽培ができる平張り施設で、収益アップ！ 有望品目：インゲン、ニガウリ、カボチャ

徳之島支場



鉄骨平張 (建築費約500万円/10a)

木柱平張 (建築費約200万円/10a)

平張施設とは？

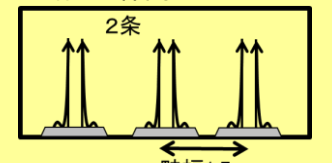
天井と四方を防虫ネットで覆った防風施設

- ・高い防風効果で安定生産が可能
- ・風傷みや変形果が減少し、商品率アップ
- ・露地では難しい立体栽培が可能→収量アップ
- ・柱が鉄骨の鉄骨平張と木柱の木柱平張がある

抑制インゲン



作式：株間30cm



作型 ○：播種 ■：収穫

9月		10月		11月		12月		1月	
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上

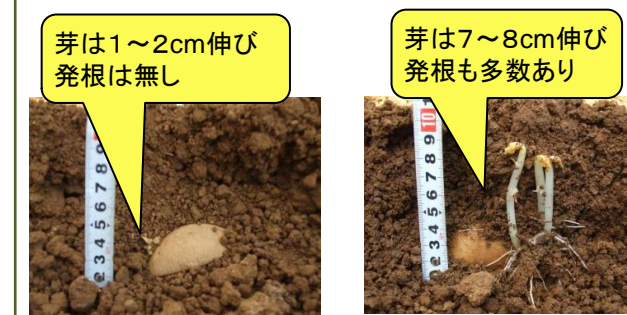
10a当たり収益性 (kg, 千円, 時間)

総収量	商品収量	粗収益	労働時間
1,905	1,551	1,488	287

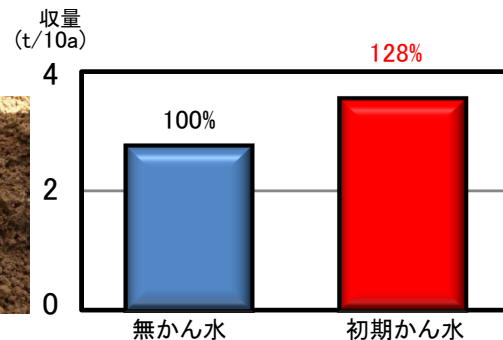
(H25~H27年3カ年平均)

効果的なかん水で、バレイショ単収アップ！

徳之島支場



生育初期のかん水が効果的



かん水による増収効果



植付2か月後まで1週間に21mmかん水した湿潤区
そうか病減少

技術ポイント

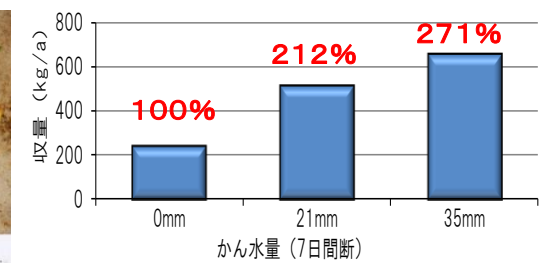
植付け時に基礎水30mm,その後2か月後まで21mm/週かん水で収量1割増, そうか病軽減!!

効果的なかん水で、ショウガの単収アップ！

徳之島支場



かん水無 21mmかん水 35mmかん水



かん水量と収量

技術ポイント

ショウガは全生育期間を通して、35mm/週のかん水量で増収